

Hakuyukai - Dayori 博友会だより

夏 [No.2]
2009年7月

医療・看護・介護を通して地域に貢献いたします



家族が認知症を理解しましょう

札幌医科大学医学部
神経精神医学講座教授
齋藤 利和 先生

医療法人社団博友会は5つの施設で社会貢献しています



平岸病院
精神科・神経科・内科
神経内科・歯科・訪問看護
赤平市平岸新光町2丁目1番地
TEL: 0125-38-8331



北の峰病院
精神科・神経科
富良野市中御料2062番地
TEL: 0167-22-2011



介護老人保健施設博寿苑
入所・短期入所
通所リハビリテーション
赤平市平岸新光町2丁目4番地
TEL: 0125-37-2001

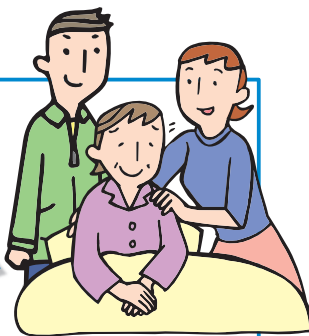


平岸クリニック
精神科・神経科・心療内科・内科
リハビリテーション科・デイクア・ナイトケア
赤平市平岸新光町1丁目1番地
TEL: 0125-38-8393



共同生活援助事業所グループホーム博友荘
入居による生活援助
赤平市平岸新光町4丁目34番地
TEL: 0125-37-2077

家族が 認知症を 理解しましょう



いきいき
健康生活

認知症は、高齢人口とともに増加し続けています。平成 17 年は約 190 万人でしたが、平成 27 年には 260 万人に達するとされています。早期発見・早期治療が大切なので「おかしい」と思ったら、できるだけ早い時期に医療機関で相談しましょう。



札幌医科大学医学部
神経精神医学講座教授

齋藤 利和 先生

1948 年美唄生まれ / 日本精神神経学会理事、国際アルコール医学生物学会理事長、日本アルコール精神医学会理事長、日本アルコール・薬物医学会理事、日本精神神経薬理学会理事、日本精神科診断学会理事、日本臨床精神薬理学会評議員、日本生物学的精神医学会評議員、日本薬理学会評議員、日本神経化学会評議員など
医療法人社団博友会は齋藤教授との連携により、質の高い医療を提供しています。

末期

高度の言語障害により会話
が成立せず、家族の名
前や顔が分からなくなる

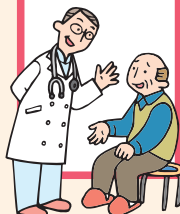
中期

日付や時間、場所の感覚
が不確かになり、徘徊な
どの異常行動が見られる

初期

物忘れが激しくなり、今
までできたことができな
くなる

認知症の経過



認知症 Q&A

Q 「お金を盗まれた」と騒ぎ出した時、家族はどう対処すべきでしょうか？

A 認知症による脳障害が引き起こす行動障害を知り、対応法を学びましょう。

無理に正そうとはいけません。自分でしまったお金を「盗まれた」と騒いでいる時に、怒ったり、説得したりすると、余計に興奮して感情がこじれることに。このような場合は、一緒に捜してあげましょう。家族が先に見つけたら、うまく誘導して本人に見つけさせます。こうした行動障害が激しくなった場合は薬物治療を行ないます。

Q 認知症の家族を介護するときのコツは何ですか？

A 介護は、家族に大きな負担を強います。疲れたら無理や我慢をせずに相談を。

認知症介護の基本は、お年寄りの世界を理解し、その世界に合わせて対応することです。そして、介護する人が健康で元気を保つことが大切。介護のストレスはかなり大きいので、疲れたら休めるように親族や近所の人たちと協力体制を作ったり、老人保健施設のショートステイを利用したりして、心身を休めて定期的に気分転換しましょう。そして、介護者の健康状態が思わしくないときは、無理や我慢をせず、気軽に医師や看護師に相談してください。

あかびら茂尻中央クリニック

診療科／内科全般（消化器科・循環器科・呼吸器科）、リハビリテーション科

診療時間／午前 9:00～12:00
午後 14:00～17:00
夜間 17:00～18:00

休診日／土日祝

※送迎あり

〒079-1261

赤平市茂尻中央町南1丁目5番地

電話 0125-32-1131



過疎と高齢化が年々進む赤平市。茂尻中央町南の住宅街で高齢者医療を提供してきた「あかびら茂尻中央クリニック」に、平成21年6月から林政幸医師が着任しました。内科全般とリハビリテーション科を標榜し、地域住民のニーズに応えています。

スタッフは、林医師、看護師、看護補助、事務職員を合わせて7人。林医師は「スタッフの数は限られますが、地域医療を担うために広い視野で診療に当たっています。患者さんが健康で幸せな人生を送れるようにサポートするのが私たちの務めです」と話します。会社帰りに診察を受けることができるよう、月曜から金曜日の診療時間を18時までと1時間延長しました。

18時まで 診療時間を1時間延長し



林政幸院長

日本内科学会認定内科医

略歴

昭和46年 札幌医科大学卒業
昭和49年 中富良野町立病院院長 就任
昭和51年 北進内科胃腸科クリニック開業
平成18年 医療法人北進会理事長 就任
平成21年 あかびら茂尻中央クリニック院長 就任
家庭医として患者さんの幸せな毎日を支えたいと思っています

診察は、患者さんの話をじっくり聞くことから

林医師のポリシーは、「患者さんの話をじっくり聞くこと」。体調の変化や不調をきちんと確認し、必要であれば、経鼻内視鏡検査（胃カメラ）、超音波検査、動脈硬化検査、ホルダー心電図検査、骨密度検査などを行います。

「早期発見・早期治療するのが医療者の責務。体の内部を画像化するCTやMRIを使った検査が必要な場合には、すぐに平岸病院で検査を受けることができるので、患者さんの負担を最小限に抑えながら、迅速で正確な診断を行うことがで



【診療方針】

- 1 地域のかかりつけ医として内科全般（消化器・循環器・呼吸器）を主体として広範囲な医療を目指します。
- 2 地域の患者様の立場に立った患者様中心の医療に努めます。
- 3 病診連携を速やかに適切に行いたいと考えています。

きます」。患者さんは地域の高齢者が多数を占めています。近隣の医療機関と積極的に連携し、地域住民の健康を支え続けています。

平岸病院

看護部 教育委員会



毎月1回開催されている看護部教育委員会

看護実践能力の向上に 努めています

平岸病院の外来と7つの病棟（精神病床・一般病床／366床）には、約2000人の看護職員が勤務。医療の進歩に応じた質の高い看護を提供できるよう、看護実践能力を向上させる院内勉強会を積極的に開催しています。

進歩する医療を 学び続ける場が必要

勉強会を主催しているのは、看護職員が組織する看護部教育委員会。平成19年4月に「看護師の資質の向上と専門性の追求を支援する」という目的を掲げて設立されました。

現在は、8人の委員が毎月1回の委員会を開催。看護職員がすぐに臨床で生かすことができるよう、指導内容を映像化するなど、分かりやすく具体的に学べる教育プログラムを企画・実施しています。

看護部教育委員会委員長で、第7病棟の玉堀理恵看護師長は「今までは親睦会活動の一環として行われていた勉強会ですが、活動を強化するため、委

員会として独立しました。知識や技術は風化するものなので、進歩する医療を学び続ける場が必要です」と話します。

オリジナル教育映像を 教材に

平成19年度の院内勉強会の開催は32回、平成20年度は44回と活発に活動しています。テーマによって対象者を看護師や看護補助者に限定したり、ポジション別に内容を絞り込むなどして、専門性をより高めています。

また、必要に応じて、臨床に即した具体例を熟練看護師がパフォーマンスするオリジナル教育映像を作成し勉強会で上映。経験に頼らずに誰もが新し

い知識や技術を正しく理解し、実際の臨床ですぐに活用できるように工夫しています。

将来は地域住民を 対象にした勉強会も

平岸病院では、看護業務の見直し・検討・改善を継続的に図り、より良い医療を提供し、地域の皆さんに信頼していただける病院になるための努力を今後も積極的に続けます。

将来は、健康推進や疾患を早期発見するための情報を分かりやすくまとめたオリジナル映像を作成し、地域の皆さんに見ていただくような勉強会も開催したいと考えています。



委員長を務める玉堀看護師長

院内勉強会のテーマ

テーマは看護の臨床で役に立つ具体的で実践的な内容で、看護職員へのアンケートをもとに決められています。

- リスクマネジメント (医療安全管理)
- 心電図検査
- フィジカルアセスメント
(問診・打診・聴診・触診)
- 高齢者看護
- 心肺蘇生
- 感染予防
- エンゼルケア (看取り時の対応)

……など



お手本を示す職員を撮影する教育映像づくり



【教育通信4月号】

医療の動向や最新の医療技術、臨床の疑問などの情報を定期的に発信している教育通信を制作し、看護職員全員に配布しています

院内勉強会

フィジカルアセスメント技術の向上を目指して

適切なケアを提供するために

看護師は、最も患者さんの近くにいる医療者です。病室のベッドへ出向き、対話しながら、患者さんの様子を観察。血圧や体温を測定し、打診・聴診・触診を行っています。

このように実際に患者さんの体に触れ、患者さんの症状を分析することを「フィジカルアセスメント」といいますが、平岸病院看護部では、そのスキルを上げるための勉強会を行っています。

適切なフィジカルアセスメントは、患者さんの気分や体調の変化を適切に把握できるだけで

なく、患者さんと看護職員の信頼関係を形成するためにも欠かせないと考えています。



7月15日に開催された看護部の院内勉強会

新病棟の外壁工事が完了しました

平成17年に増改築した病棟の外壁工事が完了し、7月27日に引渡しが行われました。



新しい外壁は冬の寒さに強く、防水・防汚効果にも優れています

日本精神科病院協会が病院を見学

日本精神科病院協会の病院経営管理委員会の会員約10人が、北の峰病院を見学しました。「療養環境がすばらしい。施設のゆたたりとした造りと眺望の良さに驚きました」との感想が聞かれました。



見学に訪れた同協会は全国の病院の理事長や院長などで構成されています

「椿れいこ友の会」の皆さんによる歌謡ショーを開催

6月24日、博寿苑4階ホールで、「椿れいこ友の会」の皆さんによるボランティアの歌謡ショーが行われました。



北海盆踊りを楽しみました

フラダンスで会場は南国ムードに



189人参加で大盛況 第16回博寿苑ミニ運動会

6月28日、「第16回博寿苑ミニ運動会」を開催しました。入所者さん94人とご家族63人、スタッフ32人の計189人が参加。パン食い競争や借り物競争など6競技を楽しみました。

参加者の一生懸命な様子や、楽器を鳴らしながら大きな声で応援する姿に、会場は盛り上がりました。また、普段はキザミ食を食べている入所者さんが、お弁当のお稲荷さんやのり巻きを完食するなど、嬉しいお驚きも。入所者さんとご家族からは「楽しかった!」「ありがとう」という感謝の言葉と笑顔をいただきました。



本気で勝負した綱引き競争